第 32 回 SCM 現場研修のご案内

SCM とは、S(Student)C(Christian)M(Movement)、学生キリスト者運動の略です。この運動は貧富の差の拡大や、差別が存在する社会構造に疑問を抱き、貧しき者の立場に立とうとした学生キリスト者の運動です。

SCM 現場研修は、1979 年から始まりました。以来、大阪市内の生野と釜ヶ崎の 2 つの現場で学び続けて、今回で 32 回目となります。

現在の社会状況を考えた時、生野や釜ケ崎で起きている問題は私たちとは無関係なのでしょうか。派遣労働、内定取り消しなど実は身近に起きている問題が多くあるはずです。この研修で私たちが重視していることは、研修生が実際に見聞きしたこと、体験したこと、手で触れるものを通して、課題を見いだすことです。枠にとらわれた考え方は存在しません。皆さん自身の感性で、研修から様々なことを得てほしいと思っています。

参加にあたっては、SCM の S(Student)や C(Christian)にこだわる必要はありません。実際に参加して、ここではとても書ききれないくらいのことを体感してほしいと思います。そこで感じたこと、考えたこと、腑に落ちなかったり、分からなかったこと、自分と違う思いや価値観に出会うこと、それらを共に参加する仲間と分かち合い、またぶつけ合いながら少しずつ生野･釜ヶ崎について考えましょう。この研修で向き合うことは、常に自分やそれを取り巻くものと向き合うことでもあります。私たちと共に生野と釜ヶ崎について、そしてそこから見えてくる私たちの生きるこの社会の抱える問題について考えてみませんか。

第 30 回研修生とスタッフの集合写真

(コリアタウン)

生野研修

大阪市生野区には、3 万人弱の在日韓国･朝鮮人(「在日」)が居住しているといわれています。日本で最大のこの地域には、コリアンタウンをはじめ、朝鮮の文化が色濃く反映された街の景観があり、ここ数年は「韓流ブーム」の中で、「近場の韓国」としての関心も高まっています。

生野研修の主な目的は、「労働」と「発題」という 2 本の柱を通じて、地域の現実の一端に触れることにあります。在日の方が経営する工場での「労働」を通じて、在日の人々を支える生活の基盤について学びます。
現場で様々な問題に取り組んでいる方々をお招きし、地域が抱える問題や歴史について、お話をしていただきます。

(あいりん労働センター)

釜ヶ崎研修

大阪市西成区に「釜ヶ崎」と呼ばれている地域があります。そこは日雇いの街、寄せ場といわれ、0.7 ㎢ ほどの広さの地域に、2 万人ともいわれる労働者が生活しています。かつて労働力市場の活気に満ちたこの街も、長期的･構造的な不況と、労働者の高齢化のために、現在では極めて厳しい状況にあります。多くの人々がその日の仕事、眠る場所、食べるものにも事欠き、路上で命を落とす人は大阪市内だけでも年間 200 人を超すことが常態化しています。さらに、最近では「行政代執行」といって、市などにより、住み慣れた公園のテントを追い出される野宿者が増えています。こうした事実を見聞きし、できる限り当事者の声に耳を傾け、そこに潜む問題について仲間とともに考えるプログラムです。

開催要項

＊ 日程：**2010 年 2 月 28 日(日)～3 月 6 日(土)** …詳しくは、裏面「研修プログラム」参照。
＊ 募集人数：生野・釜ヶ崎
＊ 参加費：**20,000 円**（期間中の食費・風呂代などは自己負担をお願いします）

問い合わせ先・申し込み方法

＊ 問い合わせ先：scm31@excite.co.jp（第 32 回 SCM 現場研修スタッフ宛）
生野：080-6323-4357 (熊野)　釜ヶ崎：090-3714-2184 (髙木)
＊ 申し込み方法：別添の申込用紙を下記住所に郵送いただくか、
もしくは上記（問い合わせ先 E-mail）に参加希望の旨を明記の上お送り下さい。
[郵送先] **〒657-0064　神戸市灘区山田町 3-1 神戸学生センター気付**
ＳＣＭ現場研修スタッフ宛
※封書に「SCM 現場研修申込書在中」と朱書してください。